

# DataSpider Servista



## 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

JVCケンウッドグループのエンタテインメント事業の中核を担う総合ソフト会社として、音楽・映像ソフトの企画・制作・販売を中心に幅広く事業を展開しています。

所在地：東京都渋谷区東1丁目2番20号  
 設立：1972年  
 資本金：55億9500万円  
 従業員数：約400名  
(ビクターエンタテインメントグループ、2012年7月現在)  
 URL：http://www.jvcmusic.co.jp/

(取材日：2014年5月)

### POINT

1 マスタDBと周辺システムとのデータ連携を効率化し、変化するビジネス環境にも柔軟に対応

2 データ連携の処理工数を5分の1から10分の1程度に削減し、ユーザーズへの迅速な対応を実現

3 情報連携のメリットがエンドユーザにも浸透し、広がる活用の幅

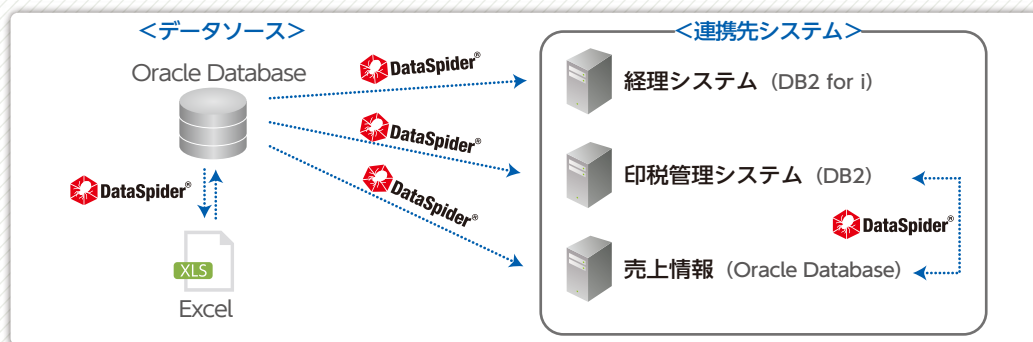
## 多様化する音楽関連サービスのシステム間データ連携を効率化し、ビジネス環境の変化にも即応

歴史ある日本の音楽レーベル、株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントでは、楽曲情報などを管理するマスタDBと、周辺システムとのデータ連携に「DataSpider Servista」を活用しています。音楽関連サービスの多様化に伴うシステム変更にも対応できるため、開発生産性は飛躍的に向上。その効果はエンドユーザにも波及し、情報活用に関する意識も変わりつつあります。今後はよりビジネスに貢献する仕組への適用が見込まれています。

課題	対策	効果
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ニーズに応じた社内外の様々なシステムとの迅速なデータ連携</li> <li>■ データ連携やマスタDBメンテナンスの工数や負荷の軽減</li> <li>■ システム上に分散している情報の活用推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ マスタDBと周辺システムとのデータ連携にDataSpiderを活用</li> <li>■ 親しみやすい開発ツールとアシストのサポートを活用</li> <li>■ DataSpiderの利用範囲を拡大し、社内に分散する情報の集約に活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 開発生産性が飛躍的に向上し、データ連携時の工数や負荷を大幅に軽減</li> <li>■ 異なるDB間のSQLの差異を意識することなく、データ連携を容易に実現</li> <li>■ エンドユーザの情報活用に対する意識が活性化</li> <li>■ アーティスト別収益の可視化も視野に</li> </ul>

業種：情報／通信業  
 データソース：Oracle Database, DB2, DB2 for i

システム概要



# DataSpider Servista

## ビジネス拡大によりマスタDBの 連携先が年々増加 管理作業の負荷が増大

「Victor」「Speedstar」をはじめとする数々の自社レーベルや、受託事業を通して音楽／映像ソフトの企画から制作／販売まで一貫して手掛ける総合エンタテインメント企業である株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント。1928年、当時の日本ビクター株式会社（現 株式会社JVCケンウッド）の音楽事業部門としてレコード生産を開始して以来、取り扱ってきた楽曲数は膨大なものとなっています。

収録されているディスク、権利者、契約内容などといった楽曲に関するマスタ情報は、Oracle Database（以下、Oracle DB）で管理されています。これらの情報は、社内外の様々なシステムで活用されています。例えば、社内ではアーティストを担当するディレクターや経理などで、社外では日本レコード協会や著作権管理団体、販売店、放送局、配信サービス事業者などで利用されています。

現在、その情報管理を担当している、経営企画部 情報システムグループの納谷馨氏は、次のように語ります。

納谷氏 社外とのデータ連携には、主にCSVやタブ区切りのファイルを利用していました。こちらで出力したファイルをFTPで送るか、あるいはWebシステムからユーザ側でダウンロードしてもらっていました。音楽配信事業者に対しては、楽曲データに加えてマスタ情報を転送していました。



納谷馨氏

近年では、多様化する音楽関連ビジネスや社内の情報活用ニーズの高まりにより、データ活用の範囲が広がりつつあります。マスタには頻繁なメンテナンスが必要で、ユーザからの相談や提案も多く、管理者の作業負荷は次第に重くなってきました。

## 試用版を通して 高い開発生産性を見極め 使いやすさが採用の決め手に

2013年春、アシストから社内BIシステムの提

案を受けたことが転機となりました。情報システムグループの一員として同席した納谷氏は、BI担当ではありませんでしたが、EAIツールとしてDataSpider Servistaの存在を知ることになりました。データ連携を効率的に開発でき、自分の仕事にも役立つとわかり、早速導入の検討を開始しました。

納谷氏 アシスト主催のDataSpider体験セミナーに参加して、このツールを使うと何ができるのかを把握しました。もちろん、他のETLツールとも比較しました。Excelアダプタが標準装備されていることや、GUIのアイコンがフレンドリーで分かりやすく、また、アシストのサポート体制を評価し、DataSpiderを採用することにしました。

8月にDataSpiderを導入し、以前から社内でも要望があったマスタDB周辺の機能から開発を始め、10月には実装しました。さらに翌年の2014年2月には、新たな音楽配信サービスに対するデータ連携を実装しています。

納谷氏 この連携で初めて、従来のFTP送信に代わり、DataSpiderを使って先方のDBに直接インサートする仕組みを構築しました。

## 工数やミスを大幅に削減 今では手放せないツールに

納谷氏 システムの多くはエンドユーザが楽になるものですが、今回初めて、開発者である自分が楽になるツールに出会えたような気がします。すごく便利で手放せません。

現在、納谷氏は映像関連のデータベースの改修作業を進めています。

納谷氏 新しいテーブル構成への書き換えに伴うため、DataSpiderを使わなければ膨大な量のプログラムコーディングが必要な案件でした。

開発に要する作業量や期間を削減する開発者が楽になるツールは、同時に開発者のミスも減らします。

納谷氏 私はOracle DBを長く利用していますが、社内の他システムではDB2も利用されています。Oracle DBとDB2ではSQLの作法が異なりますが、DataSpiderならその作法を意識しなくても済みます。DataSpiderは、工夫次第で多彩な用

途に活用できるツールだと実感しています。また、アシストのサポートも、Webから頻繁に問い合わせをしていますが、応答が早い上に充実しており、場合によってはサンプル・スクリプトや、『高速化処理のコツ』という資料を提供してくれるなど、本当に助かっています。

さまざまな機能を手軽に開発できるようになり、社内外のユーザからの要望にも、以前より迅速に対応できるようになりました。現状ではリクエストを受けた都度、納谷氏がバッチなどで処理しているマスタDBからの情報抽出を、今後はWebシステムからダウンロードするセルフサービス化を目指す方針です。

## エンドユーザのデータへの意識に変化 アーティスト別収益の可視化も視野に

システム面の充実が、最終的にビジネスの改善へと繋がってきています。

納谷氏 エンドユーザがDataSpiderを意識することはないでしょう。とはいえ、最近いろいろと要望が満たされて、手間がかからなくなったり便利になってきたとは感じているはずですよ。

近年、音楽業界では販売チャネルが拡大し、また聴き放題配信サービスのような販売形態の多様化が進んでいます。そのため、数々のシステムが構築され、情報が分散しがちでした。しかし、DataSpiderを導入したことにより、分散した情報を集約して把握することができるようになりました。納谷氏は、この情報集約のキーとなるマスタDBを管理しています。

納谷氏 アーティストごとに投資と回収を集計する場合、現状では各システムから抽出した情報を手作業で集計しているため、収支管理担当者は期末になるとその作業に追われます。そこで、システム上で簡単に、投資から回収までを把握するための仕組みを提案しています。

DataSpiderやBIツールの導入により、複数システムにまたがるデータを集計して利用できるようになってきたので、要望内容にも考え方の幅が広がってきたと思います。

情報システムグループでは、今後、他の社員たちにもDataSpiderを活用してもらう場を広げていく予定です。データ連携範囲がより一層拡大することで、ビジネスにも好影響を与えることでしよう。

お問い合わせは **株式会社アシスト**

URL <http://www.ashisuto.co.jp/product/category/etl/dataspider/> E-Mail [dataspider\\_web@ashisuto.co.jp](mailto:dataspider_web@ashisuto.co.jp)

東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル	TEL:03-5276-3653	大阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F	TEL:06-6373-7113
札幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 13F	TEL:011-281-1161	広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F	TEL:050-3816-0974
仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F	TEL:050-3816-0970	福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勸筑業通ビル 9F	TEL:092-481-7156
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F	TEL:052-232-8211	沖縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F	TEL:050-3816-0976
金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ボルテ金沢 8F	TEL:050-3816-0972		